

生徒会

松本県ヶ丘高校

生徒会長 宮原 翔



松本県ヶ丘高校生徒会は、生徒会スローガン「BE INVOLVED」の下、一、二年生計34名の役員と、全校生徒の協力によって成り立っています。このスローガンには、「巻き込み、巻き込まれる」という願いが込められており、生徒会役員だけでなく全校生徒に生徒会活動や学校行事に積極的に参加してもらい、松本県ヶ丘高校の生徒全員で創り上げる生徒会を目標としています。

そもそも、僕が県ヶ丘の生徒会に興味を持ち始めたのは入学前に遡ります。中学三年の夏、中学生を対象とした学校説明会で、生徒会役員の活躍を間近で見ることができたのがきっかけです。そこには、中学校の生徒会にはない自治性や新鮮さを感じられ、自分でも驚くほど感銘を受けました。そして、無事、県ヶ丘高校に入学することができたわけですが、当時の自分には生徒会執行部に入るほどの余裕がなく、気が付いたらもう既に高校生活の三分の一が終わっていました。もう今からでは生徒会役員は無理かなと正直なところ

思っていました。

しかし、生徒会長に立候補することを後押ししてくれたことが二つありました。文化祭での同学年役員の努力とある先生の存在です。去年の5月ごろ、どのような経緯でそうなったのかは忘れてしまったのですが、役員の方と一緒に企画の準備をする機会に恵まれました。そこで普段は表に出てこない役員の努力を間近で見ることができました。これは僕にとってとても大きな経験でした。

一年生のころから「生徒会長に向いている」「人を引き付ける力がある」とずっと言ってくださった先生がいます。この先生がいたからこそ僕は県ヶ丘高校の会長になる決心ができました。今でも自信がなくなった時はこの言葉を思い出して頑張っています。

今、僕にとって生徒会は自分を成長させてくれる場でもあり、様々な場面に通じる問いを投げかけてくれる大きな存在です。

生徒会、学校の更なる発展のために、会長としての職務をやり遂げていきます。

画廊

白虹会



「樹」
F50号
3年 西風 悠



「水路閣」
F50号
3年 山崎 暁音



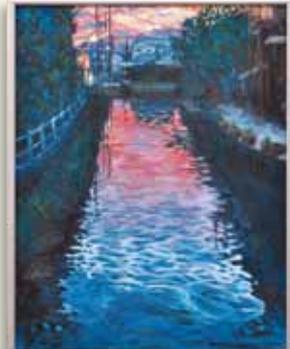
「真夏日」
F50号
3年 中村 紅映



「坡路」
F50号
3年 杉本 萌恵



「母さんの弁当」
F50号
3年 吉岡 久織



「川」
F50号
3年 百瀬 小夏

全国高等学校総合文化祭は、全国から各都道府県を代表する高校生が集結し、美術作品の展示や演劇・音楽の舞台発表などの芸術・文化を披露する、日本の高等学校の文化の祭典。
全国高等学校総合体育大会(通称「インターハイ」)に對比して「文化部のインターハイ」とも呼ばれる。表紙(一面に掲載)の絵は長野県代表として出品される。